第２号様式（第２条・第 11 条関係）　　資料-01

危 険 物 調 書

危険物調書の記入例

1.主要用途(敷地単位)	ガソリンスタンド	2.敷　地　面　積	○○　㎡
3．用　途　地　域	第 1 種住居地域	4.建築物の延べ面積	○○　㎡
5.貯蔵する建築物の床面積	○○　㎡	6.処理する建築物の床面積	○○　㎡

7.危険物の種類(用途)	8.危険物の最大貯蔵量(係数)	9.危険物の最大処理数(係数)
ガソリン（第 1 石油類） 軽油　（第 2 石油類） ギヤー油（第 4 石油類） 灯油　（第 2 石油類）	40000 ﾘｯﾄﾙ（地下タンク貯蔵） 20000 ﾘｯﾄﾙ（　〃　） 800 ﾘｯﾄﾙ（危険物倉庫内） 1800 ﾘｯﾄﾙ（　〃　）	50 ﾘｯﾄﾙ（地下タンク貯蔵～軽量器配管内） 80 ﾘｯﾄﾙ（　〃　） 50 ﾘｯﾄﾙ（サービス用作業場内）
10.法 48 条、令 130 条の 9 による算定（敷地単位）	ガソリン（対象外）令 130 条の 9 かっこ書 軽　油（　〃　）　〃 ギヤー油 800 ﾘｯﾄﾙ/（6000 ﾘｯﾄﾙ×10×1/2）＝0.027 灯油 1800 ﾘｯﾄﾙ/（1000 ﾘｯﾄﾙ×10×1/2）＝0.36	ガソリン 50 ﾘｯﾄﾙ/（200 ﾘｯﾄﾙ×10×1/2）＝0.05 軽油 80 ﾘｯﾄﾙ/（1000 ﾘｯﾄﾙ×10×1/2）＝0.016 ギヤー油 50 ﾘｯﾄﾙ/（6000 ﾘｯﾄﾙ×10×1/2）＝0.0017
	最大貯蔵量(係数)+ 最大処理数(係数)＝0.027+0.36+0.050 ＋0.016 +0.0017＝0.4547＜1.0	
11.法 27 条、令 116 条による算定（建物単位） 建築物の用途：危険物倉庫 ・　耐火建築物・準耐火建築物・その他 建築物の用途：サービス用作業場 ・耐火建築物・準耐火建築物・その他	ギヤー油 800 ﾘｯﾄﾙ/（6000 ﾘｯﾄﾙ×10）＝0.014 灯油 1800 ﾘｯﾄﾙ/（1000 ﾘｯﾄﾙ×10）＝0.18 ---------- 計 0194＜1.0	ギヤー油 50 ﾘｯﾄﾙ/（6000 ﾘｯﾄﾙ×10）＝0.00084 0.00084＜1.0
12.参考事項		

備考 1.　危険物の種類は、政令第 116 条の表に掲げる名称を使用して下さい。
2.　8.9 欄における係数は、政令第 130 条の 9 の表に掲げる数量で、当該用途地域の欄の数量を１として、それに対する比を示して下さい。